

- ☑ 2023 年度 SEF 総会開催
- ☑ 事業活動報告
- ☑ ゼロエミッション研究会
- ☑ 事業活動報告
- ☑ 森林保全活動 日向の森



トピックス

2023年度 Save Earth Foundation 総会を開催しました！

2023年10月23日(月)、公益財団法人 Save Earth Foundationの第2回総会を開催いたしました。SEFは、資源循環事業、森林再生事業と2軸で事業を活動しております。それぞれの事業で、イベントや勉強会を通じて活動報告を行っていますが、両事業をまたいだ会員向けの報告会がなく、より多くの方に活動の主旨や内容を知っていただくため、昨年度より総会を開催しております。

2部構成で開催し、1部は総会、2部は講演会を行いました。1部の総会では渡邊美樹代表理事から会員企業の皆さまへご挨拶を行った後、SEF事務局から2022年度の事業報告及び決算報告を行い、その後、百瀬業務執行理事から2023年度の事業計画及び進捗、予算の共有を行いました。2024年度に開催する新たな勉強会「森林アカデミー」の案内を会員企業に行いました。

2部はSEF顧問による講演会を開催いたしました。牛久保顧問から「持続可能な地球を目指すSEFの活動」、長野顧問から「森林再生から始めるカーボンニュートラルとネイチャーポジティブ」と題し、ご講演いただきました。閉会の挨拶は志岐理事よりいただき、会員企業の皆さまにSEFの活動の実績と今後について広く知っていただく場となりました。

これからも設立目的である「美しい地球を未来の子どもたちに残すため、限りある自然資源を有効利用し、持続可能な循環型社会づくりに貢献すること」を実現するために、会員企業の皆さまとともに、会員企業の循環型社会構築に資する活動を推進していきますので、引き続きご支援の程よろしくお願いいたします。



渡邊美樹代表理事からの挨拶



長野顧問の講演



牛久保顧問の講演



多くの会員企業様にご出席いただきました

<ゼロエミッション研究会とは>

当財団では、ゼロエミッションの実現に向けて、2017年より食品小売業・外食産業の店舗から発生する廃棄物(特に食品循環資源)の発生抑制・資源循環・適正管理の手法を学ぶ場として、「ゼロエミッション研究会」を開催しています。

第2回ゼロエミッション研究会

7月20日(木)2023年度2回目となるゼロエミッション研究会を開催しました。72名の方にZOOMとのハイブリット勉強会にご参加いただきました。様々な資源循環をテーマに、大田区での多様な企業が協働する食品リサイクルループ、愛知県でのコーヒー粕という単一品を高付加価値な肥飼料としてリサイクルする取り組み、そして、消費者が取り組む地域資源循環をテーマにLFCの平様にご講演いただきました。

消費者が取り組む食品ロス削減 LFCコンポスト～半径2km圏内の栄養循環～

ローカルフードサイクリング株式会社 たいら 由以子 氏

第2回ゼロエミッション研究会ではさまざまな資源循環をテーマに開催しました。その中で消費者が取り組む資源循環の事例としてご講演いただきました。家庭用コンポストの普及への取り組みやその先の市民が資源循環共生圏を構築するコミュニティコンポストのスキームについてご講演いただきました。



たいら様による講演

第3回ゼロエミッション研究会

9月21日(木)2023年度3回目となるゼロエミッション研究会を開催しました。今回は現地のみ27名の方に勉強会にご参加いただきました。大田区のリサイクラーアルフォ様の第二飼料化センターを見学し、見学後は大田区のご担当者様による食品ロスへの取り組みの講演、寺岡精工様から小スペース店舗でも活用できる新型の薄型計量機をご紹介いただきました。

廃棄物勉強会

6月28日(木)、ゼロエミッション研究会の分科会となる志岐理事による廃棄物勉強会を開催しました。会員企業の廃棄物担当の方に向けた廃棄物処理の歴史、廃棄物処理法とマニフェストについて、廃棄物委託契約書について、廃棄物の適正処理と適正料金についてなど、廃棄物関連業務についてわかりやすくご講演いただきました。



2023年度ゼロエミッション研究会 参加者募集

【日程】全6回

- 第1回 5月17日(水)
- 第2回 7月20日(木)
- 第3回 9月21日(木)
- 第4回 11月30日(木)
- 第5回 1月17日(水)
- 第6回 3月14日(木)

【勉強会 会場】ワタミ株式会社 東京(大鳥居)本社

【参加費】70,000円

※賛助会員(民間団体)は無料

※別途:見学会交通費、遠方への個別相談時交通費

【講師】

- ・百瀬 則子氏
(SEF業務執行理事、ワタミ株式会社SDGs推進本部長)
- ・志岐 秀明氏
(SEF理事、株式会社ガイドリーム相談役)
- ・牛久保 明邦氏
(SEF顧問、東京農業大学名誉教授)

ほか、資源循環・廃棄物関連専門家多数登壇予定

★概要をご確認のうえ、SEFホームページからお申込みください。 <https://save-earth.or.jp/archives/8599>

2023年8月から10月の森林保全活動 2023年10月31日現在

活動日	場所	イベント	参加人数	
8月 26日	日向の森	定例保全活動	15名	
9月	9日	日向の森	定例保全活動	10名
	30日	日向の森	定例保全活動	28名
10月	14日	日向の森	定例保全活動	8名
	21日	日向の森	こどもスマイリング・プロジェクト	19名

2023年4月～2023年10月末までの累計

日向の森 **250名** あいち海上の森 **23名**

◎日向の森(千葉県山武市) 活動報告

8月26日(土)の活動は、7月に行った溜池内の捕獲トラップの中身確認と、溜池に生息する外来種捕獲の他、生息する生物の確認を実施しました。

捕獲作業を行ったことで、改めて自然は日々様々な影響を受け、変動していることを身を持って体験しました。溜池が昨年に比べ、水位が下がっていました。気温の上昇や降水量が少ないこと、土砂の流出、地下水が何らかの影響により減少など、様々な外的要因が重なったため水位が下がったと考えられますが、引き続き様子を観察していきます。なお今年7月山武市では、平均最高気温31.8度。降水量は合計で68.5mmであり、昨年と比べると気温は約1度上昇。合計降水量は昨年より21mm少なかったです。(気象庁調べ)

また池の中の生物を捕獲しましたが、捕獲や目視される生物種は、アメリカザリガニ、ドジョウ、カメムシ、アメンボ、トンボ、ゲンゴロウでした。トウキョウサンショウウオなどの希少生物は発見されませんでした。特にアメリカザリガニは先月に比べ倍の数が発見されています。強い環境対応能力、繁殖力がうかがえました。引き続き駆除対策を行っていきます。溜池での活動の他、下草刈り作業や特に新規参加者へ森林散策を行いました。



8月26日溜池に生息する外来種捕獲

9月30日(土)の活動は、社員旅行の一環として会員企業のワタミ株式会社の社員18名がボランティアとして参加しました。ボランティア活動過去最多の総勢28名でスギの木の間伐と伐採した木材の運搬を体験しました。林業とは全く関係のない生活をされている方がほとんどだったので、まず日本の森林面積とその管理状況をお話し、山武の日向の森ではサンプスギ保育保全と、森林の管理と、生物多様性保護を念頭に活動していることを、林内を散策しながら説明しました。

説明後は、28名で手ノコをつかってスギに受け口を作ってもらいました。その後はチェーンソーで伐採し、2メートル間隔に切り都度、約10本以上の木材を手分けして運搬していただきました。

前日に雨が降ったこともあり、危険な作業のため、声をだして一致団結し木材を運搬してもらいました。職場ではあまり体を動かさないし、労働でチームワークを発揮させる機会もないので、貴重な体験ができたこと、感想をいただきました。



9月30日 木材の運搬



10月14日 溜池の生物保護活動

10月14日(土)の活動では、溜池の生物保護を目的とした活動を行いました。

今年の夏は降水量が少なかったことや斜面から土砂の流出が進んだことから溜池の水位が下がっていました。そこで、アメリカザリガニを捕獲、駆除しつつ、溜池の中に直接入り、土砂をくみ取る作業と、地下水が流れている水路を拡大し、水高を増やすようスコップで土砂をくみ上げました。さらに、かつて水田地だった土地へ水が流れるよう、溜池から土砂をくみ取り人工的な水路を作成しました。そうすることで、溜池に生息していたドジョウを川へ移動できるようにしました。

生物が生息しやすい環境をつくることは、こんなに時間がかかり、さらに計画通りになるかどうか結果は、すぐに分からないということ、作業しながら感じました。

だからこそ、一度大きく環境を変えてしまうことは、大変なリスクだということも良く分かりました。また20代のボランティアからは、生物多様性を守るという事を身をもって学べたとコメントいただき、この活動の目的として次世代を担う教育に貢献できていると感じました。



SEFでは、各地域での森林保全活動をお手伝い頂けるボランティアさんを募集しています。

千葉県山武市では原則として毎月第2・第4土曜日に定例活動を行っているほか、他地域でも年数回の活動を実施しています。

なお、活動実施にあたり感染症の拡大防止に最大限の配慮を講じてまいります。

下記リンクから確認事項等ご参照のうえ、ご参加をお願いいたします。

<https://save-earth.or.jp/archives/6783>

<2023年11月/12月/2024年1月の活動予定>

●千葉県山武市(日向の森)

※引き続き、2018年の台風15・19号による被害を受けた人工林の復旧作業を中心とした活動を予定しています。

11月11日(土)

12月9日(土)、12月23日(土)

1月13日(土)、1月27日(土)

●愛知県瀬戸市

(あいち海上の森)

11月18日(土)

※その他地域での活動予定については、SEF ホームページをご覧ください。

活動の詳細、お申込みはコチラ ▶▶ <https://save-earth.or.jp/event>

賛助会員・サポーター入会のご案内

SEFの活動は、皆さまからのご支援に支えられています。

「美しい地球を未来の子どもたちに残したい」。この思いにご賛同いただける皆様のご入会をお待ちしております。

企業・団体	会員特典	<ul style="list-style-type: none"> ・食品リサイクルループ構築支援 ・「企業の森づくり活動」支援 ・廃棄物法令、食品リサイクル、廃棄物管理等の専門家による助言・指導 ・「ゼロエミッション研究会」など、各種セミナー等へのご招待・ご優待 		
	会員区分 年会費	特別賛助会員	1口	500,000円
個人	会員区分 年会費	賛助会員	1口	50,000円
		資源循環サポーター	1口	50,000円(資源循環事業に用途を限定)
		森林再生サポーター	1口	50,000円(森林再生事業に用途を限定)
	会員特典	<ul style="list-style-type: none"> ・「ゼロエミッション研究会」など、各種セミナー等へのご招待・ご優待 ・森林ボランティア活動参加者に千葉県産サンプスギ製「サポーター登録証」を発行 		
		賛助会員	1口	10,000円
		資源循環サポーター	1口	1,200円(資源循環事業に用途を限定)
		森林再生サポーター	1口	1,200円(森林再生事業に用途を限定)

ご入会のお申込みはこちらから→<https://save-earth.or.jp/member/apply>

